

宮城県感染症発生動向調査情報

令和元年9月5日発行

2019.8.26～2019.9.1 ー第35週ー

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第32週	第33週	第34週	第35週
水痘			4 0.80					8 0.30	12 0.21	1,029				
流行性耳下腺炎		1 0.10	1 0.20		1 0.33			1 0.04	4 0.07	182				
感染性胃腸炎	4 1.00	29 2.90	8 1.60	21 10.50	6 2.00	4 0.80		70 2.59	142 2.45	10,819	◎	◎	◎	◎
手足口病	24 6.00	33 3.30	49 9.80	14 7.00	33 11.00	63 12.60	38 19.00	155 5.74	409 7.05	8,310	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	4 1.00	4 0.40	6 1.20	1 0.50	1 0.33	7 1.40	3 1.50	1 0.04	27 0.47	2,741	レ			○
突発性発しん	1 0.25	4 0.40	1 0.20		2 0.67	1 0.20	2 1.00	11 0.41	22 0.38	989	○	レ		
ヘルパンギーナ	4 1.00	7 0.70	15 3.00	6 3.00	16 5.33	3 0.60	4 2.00	28 1.04	83 1.43	1,154	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ						7 0.88		7 0.16	14 0.15	30,423				
咽頭結膜熱	2 0.50	3 0.30			1 0.33			6 0.22	12 0.21	565				
流行性角結膜炎		2 0.67						3 0.50	5 0.42	107				
急性出血性結膜炎									0 0.00	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14 3.50	4 0.40	3 0.60	1 0.50	1 0.33	22 4.40		34 1.26	79 1.36	6,367	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	2				
マイコプラズマ肺炎				2 2.00			1 1.00	1 0.20	4 0.33	132				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	32 8.00	8 0.80	1 0.20	11 5.50	3 1.00	4 0.80	2 1.00	114 4.22	175 3.02	1,558	◎	○	○	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	32				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		3	1	1									
	川崎病							1			◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発しん症							7						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核(患者(確定例))
塩釜管内 女性1名
仙台管内 男性1名、女性2名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
仙南管内 男性1名、女性1名
塩釜管内 女性1名
石巻管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
塩釜管内 女性1名
仙台管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O111)
仙台管内 女性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
仙南管内 男性1名
仙台管内 女性1名
- 5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 男性1名 (Enterobacter aerogenes)
後天性免疫不全症候群
仙台管内 男性1名
梅毒
塩釜管内 男性1名(第34週)
仙台管内 女性1名(第34週)、男性1名
百日咳
仙台管内 男性1名、男児2名※
※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

- [手足口病]
すべての管内で警報レベルを継続中です。
- [伝染性紅斑]
石巻管内で警報レベルを継続中です。
- [ヘルパンギーナ]
大崎、栗原、登米管内で警報レベルを継続中です。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
石巻管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より
石巻管内のO157関連 第35週採取分 O157 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第32週採取分 (8.5～8.11)	第33週採取分 (8.12～8.18)	第34週採取分 (8.19～8.25)
インフルエンザウイルスB型(ヒクトリア系統)	1件	0件	0件
RSウイルス	5件	3件	4件
アデノウイルス	0件	0件	1件
ライノウイルス	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	1件	0件	1件

4. 今週のコメント

【RSウイルス】

RSウイルスにより引き起こされる急性の呼吸器感染症で、患者の咳に含まれる飛沫や、鼻水等で汚染された物との接触で感染します。主な症状は風邪様症状ですが、乳幼児では肺炎や細気管支炎に進行し重症化することもあります。流行のピークは通常冬ですが、先週に比べて今週は患者数が倍増しており、仙台医療センターウイルスセンターでもRSウイルスが継続して検出されています。今後の動向に注意してください。

【インフルエンザ】

今週、石巻及び仙台管内からそれぞれ7人の患者報告がありました。県全体での患者報告数は多くありませんが、うがいや手洗いの励行、マスクの着用など、個々で可能な感染予防対策に努めてください。また、インフルエンザの症状が疑われる場合は、医療機関を早めに受診するよう心がけましょう。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

